

# 学校清掃と生徒指導

## — 「福井掃除に学ぶ会」の調査から —

表 真 美

### 1. 研究の目的

#### (1) 我が国特有の文化としての「掃除」<sup>註1)</sup>

我が国では、大みそかの大掃除などが、精神性をも含む大切な年中行事として守り継がれてきた<sup>1)</sup>。剣道、茶道などの武術や稽古事の稽古の前後には、稽古場の掃除が重んじられている。仏教における日常の修行では、「作務」として掃除が重視される<sup>2)</sup>。「断捨離」や室内の整理整頓がマスメディアで注目されている<sup>3)</sup>。また、社員教育に清掃を取り入れる企業も見られる<sup>4)</sup>。「心を磨く」といった表現により、掃除と精神性を結び付けるこれらの状況は、我が国特有の文化であり、公共施設で清掃をする日本人の行動が世界的に注目された<sup>5)</sup>。

#### (2) 学校清掃の捉え方の変遷

学校清掃についての社会の捉え方を探るため、日外アソシエーツの著書検索サービス「Bookplus」を利用して<sup>註2)</sup>、「学校」「掃除」のキーワードの両者を含む著書を検索した。明治9-10年出版の『家庭叢談』、大内惣吉著『保健衛生と学校児童掃除問題』（昭和2・1927年）から、しばらく出版がなく、1982年から出版が続く。2000年から徐々に件数が増え、2008年がピークとなり、2010年以降は、20件前後で推移している（図1）。

検索された著書には、概ね以下の5つの傾向が見られた。1) 掃除により規律を正して成長する、また「心を磨く」ことの大切さを説く著書、2) 学級経営のスキルの1つとしての学校清掃について述べた著書、3) 荒れた学校における掃除の指導、4) 学校清掃への批判、5) その他「家事労働」に関する著書、子どものしつけに関する著書、特別に支援が必要な児童生徒に関する著書

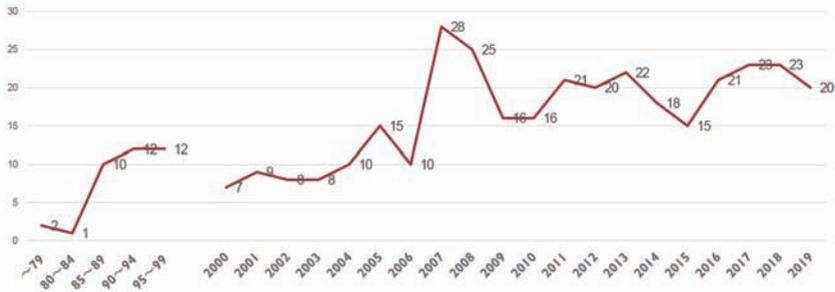


図1 「学校」「掃除」のキーワードを含む著書件数の変遷

など。2007年、2008年にピークがあるのは、後述の平田治、鍵山秀太郎による著書の出版に加えて、2007年は一般向けに掃除の大切さを説く著書が相次いだことが一因である。また、2008年は学級経営に関する著書が多かった。社会全般において掃除に対する注目度が高まった時期と考えられる。

「掃除により成長する」ことを謳った著書は、沖原豊編『学校掃除—その人間形成的役割』学事出版（1982）に始まり、山本健治『すべての一歩は掃除から—企業・学校・家庭を甦らせる「脚下からの哲学」』日本実業出版社（1998）、藤本文俊『心を磨くトイレ掃除—職場や学校が変わる』あいり出版（2018）など、1980年代から現在まで一貫して出版されている。とりわけ「自問掃除」<sup>註3）</sup>提唱者である平田治氏、後述の「日本をうつくしくする会」創始者の鍵山秀三郎による著書が多く、各々5件、11件みられた（表1）。

学級経営のスキルの1つとして学校清掃を取り上げた著書は1987年に登場し、1990年代は5件、2000年代は16件、2010年代6件であった（表2）。小・中学校の教師を対象として、学級経営のノウハウを示す著書が殆どであり、その中で学校清掃について述べられていた。特に2008年は1年に8件が出版されており、後述のように、小学校学習指導要領の特別活動に「学校清掃」が位置付けられた影響があると考えられる。

掃除の指導によって学校の荒れに対応したことを主題にした著書は、年代に

表1 平田治、鍵山秀三郎による「学校」「掃除」のキーワードを含む著書

	出版年	著書名	出版社	備考
平田治	2005	子どもが輝く「魔法の掃除」―「自問清掃」のヒミツ	三五館	
	2007	「魔法の掃除」13ヵ月―「メッセージ」を語る教師	三五館	
	2012	学校掃除と教師成長―自問清掃の可能性	一莖書房	
	2015	注意や指示の学校掃除―「自問清掃」全市または管理清掃の記憶	(私家版)	
	2018	これからの学校掃除―自問清掃の進め	一莖書房	
鍵山秀三郎	2003	日々これ掃除―人生福々、会社福々への道	致知出版社	
	2005	人生掃除する人しない人―目からウロコの超実践哲学	東洋経済新報社	
	2005	掃除道―会社が変わる・学校が変わる・社会が変わる	PHP 研究所	亀井民治編
	2007	掃除道―会社が変わる・学校が変わる・社会が変わる (PHP 文庫)	PHP 研究所	亀井民治編
	2008	「鍵山道場」人間力を磨く法則	ぱる出版	
	2008	平凡を極める生き方―小さな実践が生み出す非凡な力	致知出版社	
	2008	掃除が起こした「奇跡の力」	講談社	
	2009	写真で学ぶ「掃除道」	PHP 研究所	亀井民治編
	2010	便器を磨けば、子どもが変わる！―トイレ発！学校改革のススメ	ぎょうせい	編著
	2018	二度とない人生を生きるために―いつでもどこでも精一杯	PHP 研究所	横田南嶺共著
2019	トイレ掃除の奇跡 広島から暴走族が消え、荒れた学校が消えた	致知出版社	竹内光弘他共著	

関係なく見られた。山広康子『やればできるんよ・女性校長・学校改革1000日』ダイヤモンド社（2005）や、先に挙げた平田治や鍵山秀三郎の著書にも、学校の荒れに関する内容が含まれている。典型は、鍵山秀三郎他『トイレ掃除の軌跡 広島から暴走族が消え、荒れた学校が消えた』致知出版社（2019）であり、掃除の指導で少年非行や学校の「荒れ」がおさまった実録である。

上述の通り、学校清掃の生徒指導への効果を強調する著書が出版される一方で、近年、学校清掃の指導の方法に異論を唱える著書が出版された。杉原里美『掃除で心は磨けるのか―いま、学校で起きている奇妙なこと』筑摩書房（2019）である。書名にあるように、一部の学校の学校清掃を管理教育として批判して

表2 「学校」「掃除」をキーワードに含む学級経営に関する著書

	著者	出版年	著書名	出版社
1	外山滋比古	1987	学校のできることでできないこと	読売新聞社
2	家本芳郎	1988	学級担任ノート〈3〉問題をもった子どもの指導（実践資料12か月）	民衆社
3	豊泉清浩他	1991	いま教育を考えるための8章—現代教育の基礎理論	川島書店
4	下村哲夫	1991	教師のための法律相談12か月 全訂新版	学陽書房
5	宮川八岐	1996	小学校学級活動ファックス資料集2年	明治図書出版
6	川村秀尚	1996	気ままに、わがままに——一人一人が教室の主役	近代文芸社
7	松浦良充編	1999	いま教育を考えるための8章—現代教育の基礎理論改訂版	川島書店
8	家本芳郎	2001	生徒指導おもしろチャレンジ20—発想の転換でゆとりの指導	学事出版
9	土作彰編	2002	ミニネタで愉快な学級を創ろうよ	学陽書房
10	伴一孝他	2005	こうすれば学校が3倍楽しくなるスキル	明治図書出版
11	迫田一弘他	2005	TOSS 流学校生活のシステム化 タイム別スキル1～3年	明治図書出版
12	伴一孝他	2006	絶対に「先生大好き」と言わせる“プロのかくれ技”	明治図書出版
13	甲本卓志他	2008	いじめを出さない学級はここが違う 中学校	明治図書出版
14	甲本卓志他	2008	いじめを出さない学級はここが違う 低学年	明治図書出版
15	甲本卓志他	2008	学級のモメ事と対応の決め手裏技	明治図書出版
16	國眼厚志	2008	教師のためのラクラク便利帳92選 小学校編	明治図書出版
17	甲本卓志監修	2008	「規律ある教室」を作る 中学校	明治図書出版
18	前田康裕	2008	漫画で行動をイメージできる！フレッシュ教師の教室づくり—基本のキ	明治図書出版
19	上條晴夫他	2008	コピーして使える小学校学究生活マニュアルプリント—全学年対応	たんぼぼ出版
20	奥清二郎他	2009	学級経営の急所 これだけはしてはいけない 小学1～2年編	明治図書出版
21	奥清二郎他	2009	学級経営の急所 これだけはしてはいけない 小学5～6年編	明治図書出版
22	「明日の教室」研究会	2009	シリーズ明日の教室(1) 教師の一日・一年・学級経営・基礎の基礎	ぎょうせい
23	甲本卓志監修	2009	子どものパワーを引き出す学級経営の極意と裏ワザ 中学校	明治図書出版
24	菊池省三	2011	話し合い活動を必ず成功させるファシリテーションのワザ	学事出版
26	金大竜	2014	新任3年目までに身につけたいクラスを動かす指導の技術！	学陽書房
26	野村美明	2015	交渉教育の未来—良い話し合いを創る子供が変わる (JLF 叢書)	商事法務
27	丸岡慎弥	2016	ココが運命の分かれ道!? 崩壊しない学級づくり 究極の選択	明治図書出版
28	堀裕嗣編	2017	学級経営すきまスキル70	明治図書出版
29	河原田友之監修	2019	新任教師の学級づくり35のヒケツ	明治図書出版

いる。

### (3) 学校清掃の実態

2019年9～10月に、学校清掃の実態を明らかにすることを目的に、K大学教育学科4回生42名を対象として、教育実習校における学校清掃についての質問紙調査を実施した。調査対象の学校種は小学校38校、中学校2校、幼稚園2園であった。

幼稚園を除く、40の小・中学校において、私立・公立にかかわらず児童・生徒により、3校は週3回、6校は週4回、それ以外は毎日学校清掃が行われていた。清掃の時間帯は、小学校では「昼休み後」29校、「給食後」8校、「昼休み中」1校、中学校では両校とも放課後に行われていた。清掃時間は、15分間18校、20分間11校、10分間6校、25分、30分が各1校であった。

異学年の縦割りのグループで行われる学校も複数あり、小学校4年生以上は教室以外の割り当てもあった。多くの学校で、美化委員、環境委員などの学校掃除にかかわる委員会活動が行われていた。

### (4) 学校清掃に対する近年の見方

上述の調査では、小・中学校では、日々の学校生活において、児童・生徒による学校清掃が行われていることが明らかとなった。この中で「自問教育」「自問清掃」を掲げていなくても、学校清掃を児童・生徒指導の主眼とする学校が全国各地に散見される。「礼の教育」として、「無言清掃」を実践している例も見られる<sup>6)</sup>。このような一部の学校の学校清掃の指導に対して、近年マスメディアにおいては、否定的な意見が少なくない<sup>7)8)</sup>。前述の著書<sup>9)</sup>と同様に、規律を重んじる児童・生徒への管理教育として、指導を疑問視するものである。学校清掃を批判する論考を含んだ著書も目立つ<sup>10)</sup>。欧米の学校では、児童生徒が自ら学校を清掃する例が見られないことが、学校清掃の批判の一因とも考えられる<sup>11)</sup>。欧米では、掃除という仕事のごく最近まで「卑しいもの」とみなされ<sup>12)</sup>、我が国でも、歴史的に清掃は「階級の低い者が行う労働」というとらえ方があったのも事実である<sup>13)</sup>。

## (5) 研究の目的

これまで述べてきたように、掃除を「心を磨く」行為として、教育に取り入れることを推奨する立場があり、実際の学校現場では児童・生徒による学校清掃が日々行われている。学校清掃の指導方法について言及する著書が多く出版される一方で、近年、学校清掃に対する批判的な見方が強まっている。今後の学校清掃はどうあるべきか。本研究では、学校における「清掃」の位置付けを確認したうえで、NPO 法人「日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会」の資料、および同福井支部における調査をもとに、学校清掃が児童・生徒指導にもたらす影響について明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法

本研究は、1) NPO 法人「日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会」に関する資料、および2) 福井掃除に学ぶ会への訪問調査結果を研究資料とした。

### 1) NPO 法人「日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会」に関する資料

NPO 法人「日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会」ウェブサイト<sup>14)</sup>、および同 NPO 法人の支部が広島において行った実践に関する著書<sup>15)</sup>、学校における実践に関する機関誌である。著書、機関誌は「福井掃除に学ぶ会」より提供を受けた。

### 2) 「福井掃除に学ぶ会」への訪問調査

2020年2月5日(水)に会事務所を訪問、14時より約2時間、代表世話人のM氏、および事務局のH氏を対象に、インタビュー調査を行なうとともに、各種資料の提供を受けた。また、実践のための道具を保管している倉庫において、用具の説明、実践の方法などの説明を受けた。

同会を訪問したのは、学校掃除と仏教との関連を探るために、永平寺のある福井県における学校清掃の実践をインターネット検索したところ、上位にヒットしたためである。同会は、多くの学校における実践内容をウェブサイトアップロードしていたため、調査対象に適していると判断した<sup>16)</sup>。ウェブサイトに

あった連絡先に連絡したところ、訪問調査の快諾を得た。

調査対象者には、調査結果を本紀要に掲載、公表することを要請し、口頭にて承諾を得た。なお、本調査は、掃除の実践に関することを対象に行った調査であり、調査対象者個人のプライバシーに関しては触れていない。

### 3. 研究結果

#### (1) 学校教育における「清掃」の位置付け

まず、本研究の前提となる「清掃」の学校教育における位置付けについて確認する。

##### 1) 小学校家庭科における「清掃」

平成29年告示の小学校学習指導要領「第8章家庭」の内容B「衣食住生活」の領域には、「住まいの整理・整頓や清掃の仕方を考え、快適な住まい方を工夫すること。」とあり、「家庭の清掃」に関する内容が含まれている<sup>17)</sup>。同解説、家庭科編には「清掃」についての指導例として「学校内での汚れ調べの活動などを通して、汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方を考えたり、ほうき、電気掃除機、化学雑巾などによる清掃の効果を比較し、適切な使い分けについて考えたりする活動」が挙げられている<sup>18)</sup>。

##### 2) キャリア教育としての「清掃活動」

小学校学習指導要領には、上述の家庭の清掃以外に「学校清掃」に関する内容が含まれている。「学校清掃」は、学習指導要領においては、「特別活動」に位置づけられている。

特別活動は、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の4領域により構成されている。「学級活動」は、(1)学級や学校における生活づくりへの参画 (2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現の3項目が挙げられおり、3項目目のキャリア教育に「社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」として、「清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員とし

て役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。」とされ、「清掃」が位置付けられている<sup>19)</sup>。このように学習指導要領に明確に位置付けられたのは、平成20（2008）年告示の小学校指導要領からであり、平成元（1989）年告示小学校指導要領における学級活動の「日常の生活や学習への適応及び健康安全」6項目に加え、新しく「清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」が加えられた<sup>20)</sup>。背景として、折からの学校教育へのキャリア教育導入の影響が考えられる。平成29（2017）年告示小学校学習指導要領解説、特別活動編において清掃活動は、キャリア教育だけではなく、人間形成のための集団活動や、校内美化活動、地域社会の清掃活動、公共施設等の清掃活動など、学校行事例として挙げられている<sup>21)</sup>。

学習指導要領に明確な位置付けがなかったものの、これまでの学校現場では、児童会の委員会活動や、地域ボランティアなどの学校行事としても、清掃活動が継続して実践されてきた。

なお、中・高等学校においても、特に公立学校においては、通常生徒による学校清掃が行われているが、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領には、「清掃」「掃除」の文言は含まれていない。

## （2）NPO 法人「日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会」について

### 1）NPO 法人「日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会」

訪問した「福井掃除に学ぶ会」は、当該 NPO 法人の福井支部であった。親団体である「日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会」について、その概要をまとめる<sup>22)</sup>。

当法人は、平成 5（1993）年11月に岐阜県明智町（名称：日本大正村）という山間の小さな町の集まりをきっかけとして鍵山秀三郎氏が創唱、学校の先生方の理解により、学校を借りてトイレ清掃の活動をするようになったのが始まりである。現在では全国各地44都道府県の複数地、およびブラジル、中国、ニューヨークに活動拠点をもち、10万人以上の会員が参加、活動を継続している。団体の目的は、国内及び海外の広く一般市民を対象として、美しい街づくりと学

校や公共施設の環境美化・保全のための街頭清掃やトイレ掃除の指導援助事業、普及啓発事業、国際交流の指導援助事業、他団体との情報交換及びネットワークの構築事業を行い、住民に快適な環境づくりと美しい国づくりの実現に寄与することである。活動内容は、1) 社会教育の推進を図る活動まちづくりの推進を図る活動、2) 環境の保全を図る活動、3) 地域安全活動、4) 子どもの健全育成を図る活動、4) 前各号の掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動、としている。

活動の方針は、以下のとおりである（ウェブサイト原文ママ）。1) Self Study:「心磨き」の会です。掃除を通して、自分たちの「心の荒み」と「社会の荒み」をなくすことを目指しています。2) Non Profit: 利益追求の会ではありません。収益や集票目的のために、活動することはありません。3) Not Religion: 宗教には関係ありません。参加される人の宗教も問わないかわりにどんな宗教団体にも一切属しません。4) Non Section: 特定の組織や団体に属しません。この運動に賛同された方々により自主的に運営されています。

活動の中心であるトイレ掃除については以下のように述べている（表3）。

表3 トイレ掃除

<p>1. 謙虚な人になれる                  どんなに才能があっても、人は人を幸せにすることはできない。                  人間の第一条件は、まず謙虚であること。                  謙虚になるための確実に一番の近道が、トイレ掃除です。</p> <p>2. 気づく人になれる                  世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は、無駄があるか、ないか。                  無駄をなくすためには、気づく人になることが大切。                  気づく人になることによって、無駄がなくなる。                  その「気づき」をもっとも引き出してくれるのがトイレ掃除。</p> <p>3. 感動の心を育む                  感動こそ人生。できれば人を感動させるような生き方をしたい。                  そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一。                  人が人に感動するのは、その人と手と足と体を使い、                  さらに身を低くして一所懸命取り組んでいる姿に感動する。                  特に、人のいやがるトイレ掃除は最高の実践道場。</p>
---

NPO 法人日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会ウェブサイト  
<http://www.souji.jp/katsudou/restroom.html>

当団体には、「教師の教師による教師のためのトイレ掃除に学ぶ会」である「便教会」が組織され、教諭や児童・生徒の学校での活動が行われている。

その他の具体的な活動としては、各支部において、定期的に街頭清掃やトイレ清掃が行われているほか、機関誌が発行されている。

## 2) 団体創始者鍵山秀三郎氏について

近著によると、氏の略歴は以下のとおりである<sup>23)</sup>。「1933（昭和8）年東京生まれ。1952年デトロイト商会入社。1961年ローヤルを創業し社長に就任。1997年社名をイエローハットに変更。1998年同社相談役となり、2010年退職。創業以来続けている掃除に多くの人が共鳴し、近年は掃除運動が国内外に広がっている。日本を美しくする会相談役。著書に『凡事徹底』『あとからくる君たちへ伝えたいこと』『鍵山秀太郎 人生をひらく100の金言』、共著に『志を継ぐ』（いずれも致知出版社）などがある。」

同じ経営者でパナソニック(株)の創業者である松下幸之助も、人材育成に掃除の効用を認め実践を訴えた。「掃除一つできないような人間だったら、何もできない。皆さんは、“そんなことはもう、三つ子の時分から知っている”と思うかもしれないが、本当は掃除を完全にするということは、一大事業です（1980年6月2日）。」など、数々の「掃除と人材育成」にまつわる言葉を残している<sup>24)</sup>。鍵山秀三郎は松下幸之助とも掃除を通じた交流があった。

2019年に出版された日本をうつくしくする会メンバーの縄田良作氏、元広島県警の竹内光弘氏との共著では、2000年前後におこった広島での暴走族の鎮静化に、トイレ掃除が大きく貢献したことが語られていた<sup>25)</sup>。保釈後の暴走族のリーダーに、奉仕活動として公共トイレの掃除をさせたことが、少年たちを更生させるきっかけとなった。竹内氏は「彼らは、暴走行為であろうと奉仕活動であろうと関係ないのです。自分の存在が認められ、生きている実感が欲しかったのです。」と述べている。また同書では、当時、広島の暴走族たちを生み出していた「荒れた」中・高等学校4校が、竹内氏の協力でトイレ掃除を行ったことをきっかけに、生徒・教師が変わり、「教育の正常化」がなされたことを、

校長、区長が報告している<sup>26)</sup>。縄田氏は、教育的なトイレ掃除の意義について、「ほかのどんなことよりも短期間で意識が変わるようです。それは最下座の行為を行うことにより、身にまとう「ヨロイ」を脱ぎ謙虚になるからではないかと思いました。しかしそれは、大人が率先垂範して行うことが前提です。」と述べている<sup>27)</sup>。

### (3) 福井掃除に学ぶ会について

#### 1) 会の成り立ち

「福井掃除に学ぶ会」は2001（H13）年に発足し、これまで20年近く活動を続けている。代表世話人であるM氏が同会を立ち上げたきっかけは、M氏へのインタビュー調査によると、以下のとおりである。

M氏が、1993（H5）年に商工会議所青年部の講演会に松下政経塾塾頭の上甲晃氏を招いたことが、会立ち上げのそもそものきっかけであった。その後M氏は「志ネットワーク」に参加するようになった。「志ネットワーク」とは、上甲晃氏が2000（H12）年に「志の高い日本」は、「志の高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち設立、活動を展開する団体であり、現在も活動が続いている<sup>28)</sup>。その「志ネットワーク」でM氏は鍵山氏に出会った。鍵山氏は、研修の一つにトイレ掃除を取り入れていた。M氏は、公衆便所をきれいにすることの活動に感動、各地の「掃除に学ぶ会」に参加するようになった。M氏は、掃除を続けることが全く苦にならなかった。

2000（H12）年、M氏が福井市立M中学校のPTA会長を務めていた時、鍵山氏に中学生を対象とした講演を依頼した。講演後、鍵山氏に「掃除に学ぶ会」の立ち上げを依頼された。福井には日本をうつくしくする会の支部がなかったためであった。その後2001（H13）年「福井掃除に学ぶ会」を発足した。会は、発足から19年間、切れ目なく活動を続けている。現在会員数18名、毎月例会を開き、学校、公民館などで掃除活動を行っている。

#### 2) 学校での活動について

インタビュー調査によると、鍵山氏が生徒に向けて講演を行ったM中学校で

は、2001（H13）年から10年間、同会は生徒に対する掃除指導を行った。また、多くの近隣の小・中・高等学校において、PTAの夏休み一斉掃除の一環として、希望者の親子にトイレ掃除指導、また、学校から依頼されて掃除指導を行ってきた。同会ウェブサイトによると、例えば、2018（H30）年8月19日（日）S中学校におけるPTA主催の指導例会（参加者392名：福井掃除に学ぶ会6名、生徒266名、保護者96名、教職員24名）、2018（H30）年8月26日（日）A中学校における指導例会（参加者157名：福井掃除に学ぶ会3名、生徒80名、保護者65名、教職員9名）と、夏休みの活動は参加者の人数が非常に多い。夏休み以外の活動では、2018（H30）年8月4日（土）K中学校における掃除指導（参加者54名：福井掃除に学ぶ会4名、先生6名、生徒40名、保護者4名）、2018年（H30）年7月20日（金）M高等学校「校内ピカピカ大作戦」の指導（参加者87名：福井掃除に学ぶ会3名、先生6名、生徒78名）など、M高等学校では、12年一貫して同会による指導がなされていた<sup>29)</sup>。

2016（H28）年8月28日（日）O小学校における活動（親子奉仕作業 トイレ掃除）（参加者35名：福井掃除に学ぶ会4名、児童22名、教員2名、保護者5名、一般参加2名）では、ウェブサイトに児童の活動後の感想文が掲載されていた<sup>30)</sup>。「私は初めて日本をうつくしくする会の人とそうじをしました。トイレ掃除は何回もしたことがあるのだけれど、こんなそうじの仕方があるのだなあと、気づきました。このやり方でやっていくとすごくきれいになっていきました。すごく気持ちがよかったです、すごくうれしかったです。（後略）。」「私は奉仕活動をしてトイレがきれいになっていき、とてもすがすがしいきぶんになりました。自分の手でいつものトイレそうじとは違う方法を使って、プロの人に教えてもらうことができ、本当に良かったです。べんきなどの汚れている部分がけっこうありました。（中略）学校のトイレもきれいにしたので、あまり汚さないように使用していきたいです。」「今日、親子奉仕作業でトイレそうじをしました。ていねいに教えてくださった人の事をしっかり聞いて1つ1つきれいになるように掃除しました。（中略）一番難しかったのは、便器をみが

くことです。これからは学校のそうじの時間や家のトイレなどを今日教えてもらったようにきれいにそうじをしようと思いました。」

インタビュー調査によると、掃除指導活動を行うことによって、活動対象となった一部の学校のそれまでの児童生徒の非行、校内暴力などの問題行動や学級崩壊、いわゆる学校の「荒れ」が明らかに改善された。ニューヨークの地下鉄でも、落書きを消し、きれいに掃除したことによって、犯罪が減少したと聞いている、学校やトイレがきれいになることにより、学校の「荒れ」がなくなるのは当然ではないか、とのことであった。

しかし、最近では、学校からの依頼が減少してきている、学校教員の中には、推進派と反対派が混在している、(同会の活動はPTA活動の一環として休日に行うことが多いので)働き方改革の影響もあるのだろう、全国的にも学校での活動は減少している、とのことであった。

### 3) 掃除活動の実際

日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会で決められた掃除活動の手順は以下のとおりである(表4)。

表4 掃除の仕方

①リーダーミーティング	世話人やリーダー・サブリーダーが目標や注意事項確認事項を共有するためのミーティングです。掃除がスムーズに行えるよう、実習します。
②開会式	掃除に向けての準備運動や、感染症の予防・対策、注意事項の説明やリーダーやサブリーダーの紹介を行います。
③班毎ミーティング	班毎に掃除場所へ移動します。掃除の前に簡単な自己紹介や道具説明を行います。
④掃除	履物は必ず着用し、素足は厳禁です。また、時間を守ることも重要ですので、リーダーの指示に従い、適正な時間配分で進行してください。
⑤最終確認・片付け	最終確認を行い、後片付けをします。備品の戻し忘れや窓の閉め忘れ、電気の消し忘れなどがないか、チェックしてください。
⑥手洗い・消毒	掃除終了後は石けんで手を洗い、最後に必ず消毒をするようにしてください。うがいも忘れずに。
⑦閉会式	各班から代表者を選出し、感想などを発表します。時間が余っている場合でも、なるべく手短かに済ませる事を心掛けましょう。

NPO 法人日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会ウェブサイト  
<http://www.souji.jp/sanka/sikata.html>

訪問当日は、事務所から少し離れた場所にある、掃除道具を保管している倉庫に案内された。主な掃除道具は「日本をうつくしくする会」で統一して準備されたものを使用していた。倉庫には多くの掃除道具が保管されており、洗った雑巾が干されるなど、最近にも活動が行われていたことがうかがわれた（写真1）。1人につき1セットの掃除用具を使うため、15セット以上の掃除用具が準備されていた（写真2）。M氏により丁寧な掃除の手順についての説明を受けた（写真3）。掃除活動では、陶製小便器の排水部分を分解して、こびりついた黄ばみや尿石を落とす。尿石は極めて固く落としにくいので、金づちなどの工具やサンドペーパーが必要、とのことであった。



写真1 実践の用具のための倉庫（筆者撮影）



写真2 掃除用具セット（筆者撮影）



写真3 M氏が説明を行う様子（筆者撮影）



写真4 掃除用具セット中身（ウェブサイト）

#### 4. まとめと今後の課題

学校・社会における「学校清掃」の位置づけを明らかにした上で、NPO 法人「日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会」の資料、および同福井支部における調査をもとに、学校清掃が児童・生徒指導にもたらす影響について明らかにすることを目的として、研究を行った。その結果以下の知見が得られた。

- 1) 学校清掃は、小学校学習指導要領の特別活動にキャリア教育の一環として位置づけられている。「学校清掃」の文言が小学校学習指導要領に登場したのは2008（平成20）年改訂時であった。2007年、2008年は、学級経営に限らず、「学校」「掃除」をキーワードに持つ著書が多く出版されており、社会において掃除に関する関心が高まった時期と考えられる。
- 2) NPO 法人「日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会」は、1993（H5）年に鍵山秀三郎氏が創唱、現在では全国44都道府県の複数地、海外にも活動拠点をもち、10万人以上の会員が参加している。団体の目的は、学校や公共施設的环境美化・保全のための街頭清掃やトイレ掃除の指導援助事業などにより、住民に快適な環境づくりと美しい国づくりの実現に寄与することである。
- 3) 同 NPO 法人の福井支部である「福井掃除に学ぶ会」は、これまで近隣の多くの小・中・高等学校において継続してトイレ掃除を中心とする掃除指導活動を行うことにより、学校の「荒れ」の改善に貢献してきた。
- 4) 同会が行う学校における掃除指導は、学校における日々の「学校清掃」ではなく、夏休みの PTA 行事の一環としての活動や、学校行事において依頼を受けて行う活動であった。近年は、これらの取り組みに賛同しない教師もおり、休日の活動が多いため働き方改革の影響などにより、学校からの依頼が減少している。

同会が行う掃除指導は、児童・生徒全員ではなく、希望者に対して行う活動であり、その点では、最近のマスメディアなどによる批判の対象にはあたらない。同会のウェブサイトに掲載された児童の感想や、前述の広島での活動の著書にあった「自分の存在が認められ、生きている実感（が得られる）」「最下座

の行為を行うことにより、身にまとう「ヨロイ」を脱ぎ謙虚になる」という言葉からは、児童・生徒に道徳的な効果を与える可能性を含むのではないだろうか。日々の暮らしの中で身の回りの空間を整えることは、活動の能率化や心身の健康にもつながる。それを自身で行うのは当然のこととも言える。しかし、学校において、教育の一環として行うことに関しては、さらに検討する必要があるだろう。

今後は、「自問教育」に代表されるような、日々の学校清掃を通して教育を行う事例について、考察していきたい。

## 註

註1) 「掃除」と「清掃」の言葉の使い方について、小学校学習指導要領では、家庭、特別活動とも「清掃」という言葉を用いている。一方で家庭科教科書では、教科書出版社、開隆堂、東京書籍2社とも「そうじ」が使われている。訓示的解釈では、掃除は「掃いたりふいたりして、ごみや汚れをなくしてきれいにする。」、清掃は「きれいにする。汚れを払いのける。掃除。」とある<sup>31)</sup>。清掃活動、道路清掃など、熟語になる場合を除いては、日常生活では、「掃除」が「掃除する」の動詞にもなり「清掃」よりも多く使われる傾向がある。本研究では、「清掃」の文言が使われている場合を除き、「掃除」を使用することとする。

註2) 当該サービスは、著書の目次が表示され、概要を知ることが出来る。

註3) 自問教育は、長野県に始まった掃除を通じた教育である。「自問教育の会」ウェブサイトによると、「自問清掃は、新たな発想による学校掃除活動です。新たな発想とは、掃除の時間を「掃除がよくできる子どもにする時間」ではなく、作業（掃除）を教材として、「心の成長をねらう」ようにします。つまり、清掃は自分の心を磨く時間と考え、場所をきれいにすることを一義的な目的とはしません。そして、なんと「指示・命令・注意をしない」「心が整わないときは働くことをやめて休んでよい」という少々わかりにくい方法をとります。従来の教育とは正反対に、「褒めない、叱らない、比べない」ように努めます。」とある。

## 謝辞

今回のインタビュー調査にご協力、種々の資料をご提供頂いた「福井掃除に学ぶ会」のM氏とH氏、および学校清掃の実態についての調査を実施した守友春菜氏に厚く感謝致します。

## 付記

平成31年度宗教・文化研究所助成研究「学校掃除と地域における宗教文化との関連」への助成を受け、当該報告の「福井掃除に学ぶ会」の他に、長野県、福岡県、愛媛県の小・中学校5校を訪問し、学校清掃に関する調査を行った。その結果については、今後学会誌に投稿する予定である。

## 文献

- 1) 東大寺ウェブサイト「大仏様お身拭い」  
[www.todaiji.or.jp/contents/function/08ominugui.html](http://www.todaiji.or.jp/contents/function/08ominugui.html)  
(入手：2020年8月20日)
- 2) 天台宗ウェブサイト「法話集 お掃除」  
<http://www.tendai.or.jp/houwashuu/kiji.php?nid=15> (入手：2020年8月20日)
- 3) 勝間和代 [2019]. 2週間で人生を取り戻す！勝間式汚部屋脱出プログラム.  
文芸春秋.
- 4) 鍵山秀三郎 [2005]. 掃除道 会社が変わる・学校が変わる・社会が変わる.  
PHP 研究所
- 5) 産経新聞ウェブサイト「【ロシアW杯】世界に広がる日本サポーターの「ゴミ拾い」セネガルや3か国サポーターも会場を清掃」  
<https://www.sankei.com/sports/news/180621/spo1806210026-n1.html>  
(入手：2020年8月20日)
- 6) 永平寺町立永平寺中学校ウェブサイト  
<https://eichu.jimdofree.com/> (入手：2020年8月20日)
- 7) 西日本新聞ウェブサイト「学校のハテナ(1) 掃除 なぜ黙々とするの」  
<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/327076/> (入手：2020年8月20日)
- 8) 朝日新聞 Digital「ひたすら「無言清掃」小中学校で広がる どんな意味が？」  
<https://www.asahi.com/articles/ASN2G4D05N2GPTIL00V.html>  
(入手：2020年8月20日)
- 9) 杉原里美 [2019]. 掃除で心は磨けるのか—いま、学校で起きている奇妙なこと. 筑摩書房
- 10) 苦野一徳 [2019] 「無言清掃」「無言給食」?. ほんとうの道徳. トランスビュー, 138-141など
- 11) 米村佳樹, 岩崎恭枝 [1978]. “第六章世界の学校掃除”. 沖原豊編著. 学校掃除, 123-136
- 12) 沖原豊他 [1977]. 各国の学校掃除に関する比較研究. 日本比較教育学会紀要, No. 3, 3746

- 13) 浅見美之〔2010〕. 近代以降における学校掃除の一考察—大正期における学校掃除議論をめぐって—. 上越社会研究, No. 25, 31-40
- 14) NPO 法人日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会ウェブサイト  
<http://www.souji.jp/> (入手：2020年8月20日)
- 15) 鎌山秀三郎, 竹内光弘, 縄田良作〔2019〕. トイレ掃除の奇跡 広島から暴走族が消え、荒れた学校が消えた. 致知出版社
- 16) 福井掃除に学ぶ会ウェブサイト  
<http://souji-fukui.com/wp/> (入手：2020年8月20日)
- 17) 文部科学省〔2017〕. 第2章各教科第8節家庭. 小学校学習指導要領 (平成29年告示). 138
- 18) 文部科学省〔2017〕. 小学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説家庭編. 61-62
- 19) 前掲書17). 第6章特別活動 第2各活動・学校行事の目標及び内容. 184
- 20) 文部科学省〔2008〕. 第6章特別活動 小学校学習指導要領 (平成20年告示)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/toku.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/syo/toku.htm)  
(入手：2020年8月20日)
- 21) 文部科学省〔2017〕. 小学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説特別活動編, 27, 47, 61, 66, 127, 133, 177
- 22) NPO 法人日本をうつくしくする会／掃除に学ぶ会ウェブサイト  
<http://www.souji.jp/> (入手：2020年8月20日)
- 23) 前掲書15)
- 24) PHP オンライン衆知「掃除ひとつできない人間には商売も政治も任せられない～松下幸之助の人間修養」  
<https://shuchi.php.co.jp/article/907> (入手：2020年8月20日)
- 25) 前掲書15) “序章 広島から暴走族が消えた日”, 12-24
- 26) 前掲書15) “第五章 トイレ掃除で学校が変わった”, 143-180
- 27) 前掲書15) 180
- 28) 志ネットワークウェブサイト, <http://kokorozashi.net> (入手：2020年8月20日)
- 29) 福井掃除に学ぶ会ウェブサイト「活動・体験の様子」  
<http://souji-fukui.com/wp/> (入手：2020年8月20日)
- 30) 福井掃除に学ぶ会ウェブサイト「活動報告・実習の様子・体験記」  
<http://souji-fukui.com/wp/katudou/2016-08-28> (入手：2020年8月20日)
- 31) 松村昭編〔1995〕. 大辞林第二版. 三省堂, 1383, 1453

<キーワード>

掃除 学校清掃 生徒指導 特別活動